

きました。先生は今の神戸教区に2つの危惧がある。と話されました。1つは教役者間の信頼が希薄になってきているのではないかと、ということでした。自分たちが現職の時は、困ったことがあれば一緒に相談したり、祈りあったりしていたが、そういう信頼がなくなると、一人孤独になっていく、ということではないか、ということでした。言われたら、私も困ったことがあっても同じ伝道区の教役者と相談したりすることなく、後輩から相談されたこともあまりなかったように思います。そして先生の言われるには、まず主教が一人一人の教役者を愛することから始めなければならぬ、教役者は孤独にならぬ、愛に飢えているのではないかと、と教えて頂きました。まず主教が教役者を大切にしなければならぬ、ということを感じたいと思います。もう一つは、教役者がお山の大将になって、学ぶことを忘れ傲慢になっているのではないかと、ということでした。礼拝学でも教理学でも聖書学でもなん

でもいい、学び続けることによって謙虚さを身に付けるべき、との指摘でした。私自身広島時代に学びましたカトリック教会・イエズス会の「霊操」という黙想の仕方があります。指導してくださったのはイエズス会の清水弘神父です。今は山陰の益田と浜田の教会でお仕事をされていますが、浜田の浪花朋久司祭に清水神父を紹介しましたら、浪花司祭は清水神父から黙想指導を受けることを始めています。そして10月中旬、山陰伝道区の信徒修養会で浜田を訪れた時に、清水神父にお会いして「霊操」を神戸教区に導入するお手伝いを約束していただきました。この霊操は基本的に8日間の黙想で、教役者対象です。黙想の中で神様のお声を聞いていくこと、自分の有り様を反省し、整える機会を教役者は持つべきと考えています。これなしに御心に適った働きは出来ないのではないかと、と考えています。そして、この黙想には信徒の方も参加できます。数年前広島で行ったときには、ある信徒も参加

されています。また説教セミナーのようなものを始めたいと考えています。信徒の方から「いい説教が聞きたい」という声を聞きます。教役者は一つの説教に力を尽くして作っていると思いますが、毎週となりますとやはりどこかでマンネリになってきます。それを一度見つめ直すようなセミナーを考えています。ただ、これも教役者だけではなく信徒の方も参加できるものにしたと思います。どういうことかと言いますと、最近教役者不足で、み言葉の礼拝を守る教会が増えていきます。そうなりますと信徒の方に奨励をしてください、とお願ひしますが、一度か二度、素晴らしい証をされる、素晴らしい証をされる、もうネタがなくなりました」となってきました。最後には「先生の説教を置いて行ってください。代読しますから」となります。そうではなくて、広島時代、また徳島インマヌエル教会でもそうでしたが、信徒の方が何か月も前からみ言葉の礼拝で決められている福音書の箇所を私と一緒に数

回、勉強しまして素晴らしき奨励をされてきました。その聖書の言葉が持つ豊かさや力強さ、わからない部分を牧師と学ぶことによつて、信徒の皆さんが気づかなかった聖書のすばらしさを発見したり、慰められ、最後には一つの奨励になっていきました。そうした信徒の方との聖書の学びが私にとつても、とても楽しかったのですが、そうした学びを信徒の方と一緒に出来ないか、と考えているのです。教役者は教える人、信徒は学ぶ人、という考えを超えて、信徒のリーダーが学ぶ人から伝える人に変わった時、語るべきものが自分のものになるのではないかと、と思います。これらの研修を教区神学塾で行っていきたくと考えています。

### 「宣教」

次に神戸教区の宣教についてです。主教になりました、よく聞く言葉が「新しい主教さんになったのですから、新しい宣教方針を打ち出してください」というものです。最初聞いた時、少々の違和感を覚えました。何故だろうと考えまして、要はこれまで7年間、力を込めて行ってきた教区宣教委員会の働きが全く無視されたように感じたからです。2010年の教区会で「神戸教区宣教委員会」が立ち上げられ、2011年7月に第1回「教区宣教協議会」が行われました。そして第2回協議会が2014年の7月に行われ、昨年の9月に教区宣教140年記念礼拝で、それぞれの教会が「宣教アクションプラン活動」を報告しました。その報告が今年4月に一冊にまとめられて皆さんに届けられていると思います。その報告の中の「3. 未来に向けて、これから行っていきたい事」は各教会で実行されているでしょう。この各教会の報告を無視して、新しい宣教方針はありません。昨年の教区会の時、中村主教は開会演説の最後で「神戸教区は宣教150年に向けて新たな歩みを始めておりますが、各教会が掲げた宣教のビジョンを「神の秘められた計画（1コリント4:1）」として捕らえ、アクションプランの進捗状況について、